

2020年11月10日

「ヤクルトCSRキャンペーン」を実施 ヤクルトグループ従事者がMY「ACT NOW」宣言を実行

株式会社ヤクルト本社（社長 根岸孝成）は、国連の気候変動対策キャンペーンの「ACT NOW^{※1}」に対応した「ヤクルトCSRキャンペーン」を2020年6月にヤクルトグループ全従事者向けに実施し、MY「ACT NOW」宣言の募集を行いました。また、本キャンペーンの一環として、公益財団法人オイスカ^{※2}の「子供の森」計画^{※3}への寄付、「グリーンウェイブ2020^{※4}」への参加をあわせて実施しました。

キャンペーンでは、「ACT NOW」で推奨される“10のキーアクション”を参考に、気候変動対策として自分ができる具体的な行動宣言を募集しました。自分たちの行動が寄付につながることでモチベーションとなり、31,935名が参加し、合計859,240ポイントが集まりました。

【CSRキャンペーン結果報告ポスター】



参加者の合計ポイントを金額換算し、公益財団法人 国際緑化推進センター^{※5}（JIFPRO）の「熱帯林造成基金事業」に859,240円を寄付しました。寄付金は、気候変動対策の有効な手段の一つである植林活動として、ミャンマーのラトケ・テトランカン地区のコミュニティフォレストの造成に活用されます。

また、キャンペーンの一環として、公益財団法人オイスカの「子供の森」計画へ10万円を寄付しました。この寄付金は、インドネシア、フィリピンの活動に活用されます。

さらに、「グリーンウェイブ2020」にも参加し、国内のヤクルトグループの工場で植樹等を実施しました。

当社では、今後もグループ全従事者にCSR教育を行い、CSR意識の啓発を図っていきます。

なお、今年度のキャンペーンの概要は下記のとおりです。

記

1. 名称：「ヤクルトCSRキャンペーン」（1994年から実施し、今年で26回目）
2. 期間：2020年6月1日～6月30日
3. 対象：ヤクルトグループ全従事者
4. 実施内容：

(1) MY「ACT NOW」宣言

① 参加者：31,935名

② 参加者の合計ポイント：859,240ポイント

※ ポイントは、一人最大30ポイントとする。宣言とポイントの目安として、対象期間の30日間で概ね達成できる目標を立て実行し、達成度合いを数値化した。

※ 合計ポイントは、1ポイント1円で金額換算し、公益財団法人 国際緑化推進センター（JIFPRO）の「熱帯林造成基金事業」に寄付

(2) オイスカ「子供の森」計画への寄付

① 寄付金額：10万円

② 支援先：インドネシア、フィリピン

(3) グループとしての「グリーンウェイブ2020」への参加

国内のグループ内工場で「植樹」等を実施



オイスカ「子供の森」計画 活動風景
(写真提供：オイスカ)



「グリーンウェイブ 2020」
茨城工場での植樹

※1：個人による気候変動対策をグローバルに呼びかける国連のキャンペーンです。消費パターンの変化を促すため“10のキーアクション”を推奨しています。

“10のキーアクション”（※現在は“10 simple actions”に変更）

①「5-Minute Showers」（シャワーは5分まで）、②「Drive Less」（自動車をなるべく使わない）、③「Lights Off」（照明をこまめに消そう）、④「Local Produce」（地産地消を心がける）、⑤「Refill and Reuse」（つめかえ、リユースしよう）、⑥「Meat-free Meals」（肉の摂取を減らそう）、⑦「Zero-Waste Fashion」（洋服のゴミを減らそう）、⑧「Bring Own Bag」（マイバッグを使おう）、⑨「Recycle」（リサイクルしよう）、⑩「Unplug」（コンセントをこまめに抜こう） ※ 日本語訳はヤクルト本社が作成

※2：アジア・太平洋を中心とした地域で、農村開発、人材育成、環境保全を推進している国際NGOです。

※3：子どもたち自身が、学校の敷地や隣接地に苗木を植え、育てていく活動を通じて「自然を愛する心」、「緑を大切にする気持ち」を養いながら、地球の緑化を進めていこうというプログラムです。1991年に始まったこの活動は、36の国と地域の5,264の学校に広がっています（2020年3月末時点）。

※4：国連が定める国際生物多様性の日（5月22日）の現地時間午前10時に各国の企業、学校、市民が植樹等を行う地球規模のキャンペーンのことで、国連が呼び掛けをして、日本では環境省、農林水産省、国土交通省も参加を推奨しています。

※ 当グループでは例年、CSRキャンペーンに先立ち、国際生物多様性の日に合わせて実施していますが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止等の観点から、日にちを限定せずに実施しています。

※5：国際森林・林業協力を推進するための人材の確保、NGO等民間協力活動の促進、普及啓発活動等を通じ国際緑化の推進に寄与し、地球規模での森林保全造成に資する活動を推進している団体です。

以上